

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成29年9月26日	使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	上田周二
レジメン名	Ph陽性ALL202 地固め療法1 (60歳未満)		
疾患名	急性リンパ性白血病		
適応分類	地固め療法	適応の備考	
1コース日数	21 日間	総コース数	コース 催吐性リスク 中等度
抗がん剤投与量・投与日	メトレキセート1000mg/m ² day1、シタラビン2000mg/m ² × 2 day2-3、ソル・メドロール注50mg/body × 2 day1-3、 【髄注】メトレキセート15mg/body、キロサイド40mg/body、デキサメタゾン4mg/body day1		

治療スケジュール・投与日程（投与日は●） (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1	側管①	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body		●	●	●																			
	点滴静注	ソル・メドロール注	50 mg / body	15 分	●	●	●																			
2	側管②	生食100mL	1 本 / body		●																					
	精密持続静注	メトレキセート注	100 mg / m ²	1 時間	●																					
最初に100mg/m ² を1時間で投与し、残りの900mg/m ² を23時間で投与する。																										
3	側管②	生食500mL	1 本 / body		●																					
	精密持続静注	メトレキセート注	900 mg / m ²	23 時間	●																					
最初に100mg/m ² を1時間で投与し、残りの900mg/m ² を23時間で投与する。																										
4	主ルート	生食50mL	1 本 / body		●	●	●																			
	点滴静注	アイソボリン点滴静注用 ロイコボリン注として15mg/body	7.5 mg / body	5 分	●	●	●																			
メトレキセート投与開始36時間後から投与開始して、6時間毎に計8回投与する																										
5	主ルート	生食500mL	0.6 本 / body		●	●																				
	点滴静注	シタラビン注	2000 mg / m ²	3 時間	●	●																				
1日2回12時間毎に投与 60歳以上は、原則1000mg/m ² へ減量する																										
6	側管①	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body		●	●	●																			
	点滴静注	ソル・メドロール注	50 mg / body	15 分	●	●	●																			
7	主ルート	生食500mL	0.6 本 / body		●	●																				
	点滴静注	シタラビン注	2000 mg / m ²	3 時間	●	●																				
1日2回12時間毎に投与 60歳以上は、原則1000mg/m ² へ減量する																										
8	主ルート	生食50mL	1 本 / body			●																				
	点滴静注			5 分		●																				
9	なし	生食20mL	1 本 / body		●																					
	髄注	メトレキセート注	15 mg / body		●																					
		キロサイド注	40 mg / body		●																					
		デキサメタゾン注1.65mg	2 本 / body		●																					
髄注はday1ではない場合もある																										

【投与上の注意】

シタラビン: 大量投与時、結膜炎予防のためのステロイド点眼を行う。例えば0.1%フルメトロン点眼、1日3回、両眼、シタラビン投与前日から投与終了の翌日まで。
 メトレキセート: day1及びday2に十分な補液を行い、hydrationを行うこと。100~150mL/h(尿量3000mL/日以上)。利尿剤はダイアモックス注を使用する。
 メトレキセート: 尿のpHチェックを行い、pH7.0以上であることを確認する。pHが低い場合は、メイロン注を適宜追加する。
 メトレキセート: 血中濃度を測定すること。